

Volume 01

四日市あすなろう鉄道



時を駆ける電車
— 四日市あすなろう鉄道を紹介 —

大正元年(1912年)の開業以来変わらない、わずか762mmの狭い線路幅。
この特殊狭軌線・ナローゲージ鉄道は全国に3社線しかありません。
近代遺産とも呼べるとても貴重な存在は、四日市あすなろう鉄道に生まれ変わって今年で5周年を迎えます。

■内部・八王子線の始まり

大正元年、軽便鉄道(※)として、日永駅～八王子村駅(後の伊勢八王子駅)間で開業された内部・八王子線。八王子線という名称は、かつての終点が伊勢八王子駅だったことに由来します。その後、諏訪駅、小古曽駅、内部駅などが順次設置され、内部線が誕生しました。

今では内部線が本線、八王子線が支線といったイメージがありますが、元々は開業時期の早い八王子線が本線、内部線が支線と認識されていました。
(※) 軽便鉄道: 線路の幅が狭く車両も小型の小規模の鉄道

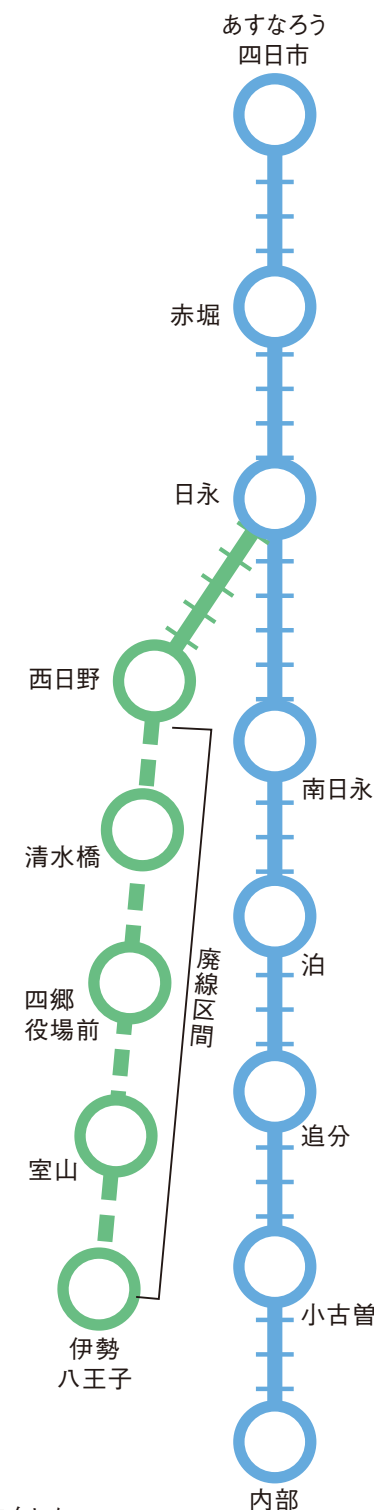
■西日野駅～伊勢八王子駅間の廃止

昭和49年の集中豪雨による天白川の洪水で、日永駅～伊勢八王子駅間が休止となり、昭和51年に日永駅～西日野駅間は復旧(西日野駅を移転)しましたが、西日野駅～伊勢八王子駅間は廃線となってしまいました。

西日野駅が終点となって長い時間が経過し、正式名称は「八王子線」のままですが、伊勢八王子駅まで路線が延びていたことを知らない世代からは「西日野線」という通称で呼ばれるようになりました。



八王子線に存在した室山駅 駅名標



■廃線の危機

平成20年代前半、利用者の減少に歯止めがかからず、鉄道という形態での事業継続が困難な状況になり、内部・八王子線は廃線の危機を迎えます。

しかし、市民・地域・行政・市議会など同線に関わる大勢の人が、同線存続に向けた取り組みを積極的に展開しました。

こうした熱意が通じ、平成25年9月、本市と鉄道を運営する近畿日本鉄道株式会社は、公有民営方式による同線存続で合意を迎えます。

■新たなスタート



「四日市あすなろう鉄道株式会社」は、平成27年4月1日に運行を開始しました。そして、現在も地域の貴重な交通手段として日々走り続け、今年で5周年を迎えます。

社名の「あすなろう」とは、未来への希望(「明日にむかって」)と、運行する同線が軌間762mmという狭軌(ナローゲージ)であることに由来します。

この先も、ずっと内部・八王子線を残すため、利用者増を目指し、さまざまなイベントを開催するなど四日市あすなろう鉄道の挑戦は続きます。



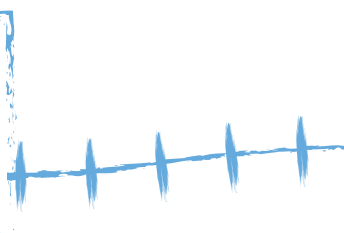
大正元年

日永駅～八王子村駅間が開業



大正11年

小古曽駅～内部駅間が開業し、全線が開通



昭和51年

昭和49年の集中豪雨による被害を受けた、西日野駅～伊勢八王子駅間の運輸営業を廃止



平成27年

四日市あすなろう鉄道運行開始



平成28年

ローレル賞受賞



平成31年

シースルー車両導入



令和2年

四日市あすなろう鉄道設立5周年

これまでの5年 これからの5年 そして未来へ



平 成23年10月、仲間たちと沿線の駅をきれいにしようと考え、当時の運営事業者である近鉄に話を伝え、ボランティアで植栽の剪定などの活動を始めました。

活動自体は地域の人や鉄道利用者から感謝されて役に立っていると思っていましたが、任意団体ではさまざまな場面での発言力が弱いと感じ、平成25年5月にNPO法人化したのです。

会 の活動のきっかけは、内部・八王子線の廃線について具体的な話が表面化してきたことです。私たちは、地域住民にとってはもちろん、市にとっても必要な路線であることを訴えました。いろいろな意見を持つ人と意見を交わしていくことは大変でしたね。

そうして今の「四日市あすなろう鉄道」が誕生していったわけですが、「存続の区切りは10年」という条件付きでした。スタートから10年後に収支だけでなく

地域にとっての意味合いを再検討することになったのです。ですから、これからの5年が重要な意味を持つのです。

存 続の危機から5年が経過しました。これまで、存続に向けた意見発信だけでなくウォーキングイベントなどを企画して鉄道を盛り上げてきましたが、今後は未来へとつなげることも考えていかなければなりません。

そこで、鉄道をよく利用する四日市南高等学校の課外授業とコラボして、「まちづくりを考えるワークショップ」を行うことにしました。高校生に自分たちが大人になったときどんなまちにしたいか、公共交通が地域にとってどんな存在かを考えてもらっています。今後、公共交通に関するニュースなどを見たときに、自分事として捉えられるのではないのでしょうか。この取り組みが基になって、若い世代が「四日市あすなろう鉄道」を未来へつなげていってくれるとうれしいですね。

愛称は「あすなろう中央緑地駅」。国体開催に向けて利用促進!



ウォーキングイベント



四日市南高校でのワークショップ



日永駅の駅名標前で

四日市あすなろう鉄道

5年のあれこれ

スタートから5年、いろいろなことができました。その中から、主な出来事を紹介します。



■駅舎などの周辺環境整備

駅舎の塗装や花壇の整備など、沿線住民をはじめ、ボランティアの皆さんに支えていただいています。



■ゴールデンウィーク体験イベント

内部車庫での車両床下探検・屋根上見学などの体験イベントも好評でした。



■車両部品の販売

改造・廃車した車両の部品を販売(貴重部品はオークション)。鉄道ファンに好評でした。



■パステルカラー車両さよならイベント

平成30年9月、パステルカラー車両の最後の1編成が最終運転を迎えました。さよならセレモニー(出発式)には大勢のあすなろうファンが詰めかけました。



■弥次喜多まんじゅう列車

鉄道に乗車して呈茶券を入手し、東海道日永郷土資料館で好きなまんじゅうと引き換えます。東海道散策も合わせて楽しめるイベントです。



■真夏のカブトムシ列車

あすなろう鉄道の「1dayフリーきっぷ」を南部丘陵公園や日永駅駅前広場で提示してカブトムシをゲット。公園ではヤギの放牧も同時開催されました。



■バレンタイン列車

四日市四郷高等学校の生徒さんから乗客の皆さんへチョコをプレゼント。沿線スタンプラリーと合わせて参加していただくお客様も。



■イルミネーション列車

中心市街地のイルミネーション開催に合わせて、冬季限定できらめく光の列車が走ります。のどかで幻想的な雰囲気が好評な企画です。

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 公共交通推進室 ☎354-8095 FAX 354-8404
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354-8315

目の見えない人も
文字を読むことが困難な人も

誰もが読書の 喜びを

「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」(読書バリアフリー法)が令和元年6月に公布・施行されたことに伴い、市立図書館では、「四日市市立図書館視覚障害者等サービス実施要綱」を策定しました。これにより、従来に比べ対象者の範囲が広がり、より多くの人にサービスをご利用いただけるようになりました。

[対象者]

従来 視覚障害者

現行 ●視覚障害者
●その他の障害があって視覚による表現の認識に障害のある者

それぞれ皆さんの状態に合わせて適切なサービスをご案内します。職員に気軽にお声掛けください。

例えば…

- 活字をそのままの大きさでは読めない
- 活字を長時間集中して読むことができない
- 目で読んでも内容が分からない、内容を記憶できない
- 身体のまひや病気で寝たきりの状態などにより、資料を持ったりページをめくったりできない
- その他、原本をそのままの形では利用できない

点字資料・録音資料を初めて借りる場合、「四日市市図書館共通貸出券」の発行と併せて、同室への登録が必要です。家族やヘルパーなど、代理人による登録も受け付けています。なお、登録には条件があります。

条件

- 四日市市・菰野町・川越町・朝日町に在住か通勤・通学、またはいなべ市・桑名市・東員町に在住する
- 視覚障害者、その他の障害があって視覚による表現の認識に障害がある など

詳しくは、市立図書館へお問い合わせください。

●点字資料・録音資料の貸し出し



点字資料・録音資料を取り揃えています。当館で所蔵していない資料も、他館から借りることができます。(初回は点字・録音資料室への登録が必要)

●点字資料・録音資料の製作



希望する資料が点訳・音訳されていない場合、当館で製作して提供します。(図書館協力者に委託)

●リーディングサービス(対面読書)



職員または図書館協力者が、本や雑誌、新聞などを読み上げるサービスです。(別室で実施。事前申し込みが必要)

●読書支援機器の利用



点字ディスプレイ、デジタイゼーション、音声読書器、視覚障害者用パソコンなどを揃えています。

●大活字本など



大きな文字で書かれた「大活字本」や、点字付きの触る絵本、LLブック(やさしく読みやすい本)などがあります。

●拡大読書器など



資料を拡大してモニターに映し出す拡大読書器があります。老眼鏡や拡大鏡はカウンターに用意しています。

一般成人室

★どなたでもご利用いただけます★

点字資料・録音資料って どうやって作るの?

図書館協力者の皆さんが時間をかけて丁寧に製作します。

……作業の大まかな流れ……

- ①1冊ずつ担当者を決定
- ②打ち合わせ・下調べ
- ③パソコン点訳／デジタル録音
- ④校正(担当を変えて複数回確認)
- ⑤最終確認(全国の製作基準に準拠)
- ⑥納入

【四日市録音奉仕の会】



読み方やアクセントなど、事前調査は特に時間がかかって大変です。写真や図をどう伝えるかも難しいところですね。でも、自分では選ばない本に出合うことにもなり、自分自身の勉強にもなります。定期的に勉強会も開催し、技術の向上を目指しています。

【点訳グループ くすの木】



下調べは大変ですが、苦手な分野に取り組んだり、新聞などで読み流していたニュースも点訳のために読み込むことで理解できたり、自分のためになります。長年続けて経験を積むことが大事ですね。将来引っ張っていく次の世代を育てていきたいと思っています。